

後期日程入学試験問題 [小論文]

以下の【課題文1】、【課題文2】を読んで、問(1)から問(4)に答えなさい。

問(1) (配点: 10点)

【課題文1】の文中にある【ア】と【イ】には、下線を引いた(3)から(5)の文のうち一つまたは二つが当てはまる。【ア】に当てはまるのはどの一つまたは二つか。また、【イ】に当てはまるのはどの一つまたは二つか。それぞれ答えなさい。解答欄には(3) (4) (5)などの記号のみを記入すること。

問(2) (配点: 20点)

【課題文1】の文中にある【ウ】と【エ】に入るものとして最も適切なものを、次の①から④の中からそれぞれ選びなさい。解答欄には①②③④などの記号のみを記入すること。

- ① 間違いである
- ② 前提はすべて本当なのに結論は間違いになる
- ③ 正しい
- ④ 前提が間違っているので結論が間違いとなる

問(3) (配点: 35点)

【課題文1】におけるエウアトルスとプロタゴラスの主張の当否について、あなたはどのように考えるか。理由を付けて300字以内で論じなさい。(なお、本問は、法律の知識を問うものではない。)

問(4) (配点: 35点)

【課題文1】と【課題文2】の内容を踏まえて、法解釈の方法と論理的推論の共通点と相違点と考えられるものについて、400字程度で論じなさい。(なお、本問は、【課題文2】の中の民法の内容理解について問うものではない。)

出典:【課題文1】内井惣七『推理と分析』(放送大学教育振興会、1992年)、【課題文2】宍戸常寿・石川博康編『法学入門』(有斐閣、2021年、10頁～18頁[内海博俊]の一部抜粋)。出題との関係で、必要な省略、変更、補足を施している。